

フロン防水材塗り重ね用

フロンプライマーUS



2液アクリルウレタン上塗塗材  
**弾性トップ14**

フロン防水材の機能を活かす保護仕上材  
ウレタン防水保護仕上トップコート  
トップコートの定番!

plu ぺいんとわーくす  
http://www.paint-works.net

《ウレタン防水トップコート塗替え仕上げ》

**1** 下地素材(旧塗膜)のホコリ、油分、密着不良塗膜など付着物は完全に除去し洗浄し、よく乾燥させて下さい。(気温5℃以下湿度85%以上や天候の悪い場合の塗装は避けて下さい)

下塗り:プライマーUS  
上塗り:弾性トップ14

(気温5℃以下湿度85%以上、炎天下や躯体の温度が高い場合や天候の悪い場合の塗装は避けて下さい)

**2** 塗料が着いては困る所はテープやマスキングで養生して下さい。

**3** 【下塗り】  
プライマーUS  
よく混ぜてください。

※旧トップコートがシルバー系の場合は適しません。

**4** うすめずに原液のまま塗装します。スミなど狭い箇所などはあらかじめ目地はけなどで塗装しておきます。

**5** ローラーで塗りのばします。

**6** 【乾燥】  
3時間(23℃)以上乾燥させます。(24時間以内に上塗りして下さい)

**7** 【上塗り】  
弾性トップ14をA液B液共均一によく混ぜてください。

**8** A液とB液を1:4の割合で配合しウレタンシンナーで50~60%薄め均一になるようによくかき混ぜます。

ウレタンシンナー  
50~60%

※配合は重量比で量りましょう。

**9** スミなど狭い箇所などはあらかじめ目地はけなどで塗装しておきます。

※可使用時間は2時間(23℃)です。A液・B液配合後可使用時間内に使い切ってください。

**10** ローラーで塗りのばします。(A液とB液配合後2時間以内に使い切ってください。)

**11** 【完成】  
48時間以上(23℃)乾燥させます。(弾性トップ14が完全に乾く前に養生を取り除いてください。)

- 気温5℃以下湿度85%以上の場合、また降雨、降雪、強風時および天候不良となる恐れがあるときには塗装を避けてください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、有機ガス用の防毒マスクなど適切な保護具を着用し、皮膚に触れないように必要に応じて保護めがね、保護手袋長袖作業着を着用して下さい。
- 直接皮膚に触れないよう注意して下さい。もし触れた場合、ウエス等で充分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。眼に入った場合は多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 良くフタをし子供の手の届かない一定の場所を定め、空気中の湿気と反応しますので、空気が入らないように密栓し冷暗所に保管して下さい。容器は中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 製品安全データシートをよく読んで取扱ってください。
- コンクリート、モルタル表面に形成されるレイタンス(遊離アルカリ)、エフロレッセンス(白華)、砂、ホコリ、ゴミ等は密着不良の原因となる為、ワイヤー付きポリッシャー等で完全に除去して下さい。
- 旧塗膜がシルバー系の場合は、塗膜強度が弱い為、十分な下地処理を行わないと密着不良となります。
- 降雨後は、下地が水分を含んでいる為、2日以上十分に乾燥させて下さい。
- 施工時及び施工後の換気を十分に行ってください。
- シーラーと上塗り塗料は絶対に混合しないでください。また、はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
- A液B液の配合比(重量比)は、ハカリ等を使って正確に混合してください。硬化不良の原因となります。
- 可使用時間は2時間(23℃)です。A液とB液混合後2時間以内に使い切ってください。
- 塗装条件、環境などにより、塗膜の本来の耐久性が十分に発揮されない場合があります。
- プライマーは、湿気硬化型ウレタン樹脂ですから、空気中の湿気と反応します。開缶後は速やかに使い切ってください。
- プライマーを塗布後3~24時間以内(25℃)に上塗りをして下さい。24時間以上経過しますと上塗りが層間剥離を起こす恐れがあります。
- 弾性トップ14に防水性はありませんが、旧防水層が劣化している場合は再度防水施工し塗装して下さい。